

第1号議案 平成20年度事業報告

平成20年度 事業報告

自 平成20年 4月 1日

至 平成21年 3月31日

社団法人 日本スポーツ吹矢協会

1. スポーツ吹矢の普及及び振興

I. 事業概要

平成19年度の事業方針を踏まえ、更にスポーツ吹矢の浸透を通じ、一層の健康促進に寄与するとともに、公益法人の目的に沿った事業活動を推進した。

20年度については、更に公益事業の推進を企てるために、障がい者に対してスポーツ吹矢を通じて社会参加及び交流を目的とした、体験会や競技会を開催した。又、子供達のためにスポーツ吹矢を通じて、礼儀の大切さ、集中力、体力向上を目的とした体験会を開催し、更に高齢者の介護予防の分野に取り組み、多くの成果をあげることができた。

また、本年度は入会者数も前年比110%を超え、通算16,000名を突破し、支部数も400支部を超え、より全国的にスポーツ吹矢の普及・振興を進めることができた。

II. 事業内容

1. スポーツ吹矢の普及・振興

1)平成20年度は、広報活動とし、スポーツ吹矢を体験したい方々のためにより多くの体験教室を実施した。

①各市区町村の教育委員会と連携をとり、学校及び児童館などで子供達を対象とした「スポーツ吹矢体験」を実施した。

No	開催会場	人数
1	東京都品川区教育委員会	30名以上
2	埼玉県宮代市新若自治会	20名
3	千葉県市川市第4中学校	30名以上
4	広島県呉市教育委員会	20名
5	鹿児島県鹿屋市教育委員会	30名以上
6	千葉県八千代市教育委員会	30名以上
7	東京都港区教育委員会	30名以上

②各県・市区町村のレクリエーション協会に登録し、連携をとりながら、各地域でのスポーツの振興を目的とした、スポーツフェスティバルに積極的に参加した。

No	開催会場	人数
1	千葉県障害者スポーツレクリエーション協会	30名以上

2	長崎県諫早市レクリエーション協会	30名以上
3	千葉県八千代市レクリエーション協会	30名以上
4	埼玉県草加市体育協会	30名以上

③その他、高齢者・障がい者、ジュニアを対象にスポーツ吹矢を通じて、スポーツの振興・健康増進を目的としたスポーツ吹矢体験会を実施した。

No	開催会場	人数
1	東京都多摩市デイサービスセンター	30名以上

2) 入会及び地域支部の設立

①入会

年間の新規入会の目標を3,000名とし、地域支部の設立目標を年間100支部とし、普及活動を実施した。結果は以下の通り

新規入会数 2,734名

②支部の設立

1>平成20年度の新規設立数

新規支部設立数 128支部

2>支部が少ない県(地域)に対しての組織強化として下記都道府県に対し普及活動を行い、支部を設立した。

No	都道府県	設立支部名
1	北海道	旭川大雪支部
2	愛知県	大府翼支部
3	島根県	島根松江支部

3>指導者の育成

平成20年度は、会員に対し昇級・昇段取得の推進を図り、本年度の昇級・昇段資格取得者数は以下の通りとなった。

級位取得者 4,027名

段位取得者 3,462名

2. スポーツ吹矢に関する競技大会の開催

当協会主催の競技大会を以下の通り実施した。

①第2回スポーツ吹矢「青柳杯」大会

三段以上高段位取得者を対象とし、青柳杯冠した日本一を競う大会。

日 時:平成20年4月13日(日)

会 場:東京・BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ

参加者:242名

競技種目

的までの距離10mから矢を5本1ラウンドとし、6ラウンドを行い上位16名を選出する。

上位16名による決勝をトーナメント制で行い、上位3名まで表彰する。

収支報告書

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
前期繰越金	0	設備費	116,130
参加費	726,000	事務費	45,600
協賛金	99,736	運営費(備品・消耗品)	788,793
協会負担金	177,223	運営費(表彰関係)	16,676
		その他	35,760
		次期繰越金	0
収入計	1,002,959		1,002,959

②スポーツ吹矢第11回全国大会

段位取得者を対象に、全国的規模の大会。

日 時:平成20年6月8日(日)

会 場:BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ

参加者:402名

競技種目

個人戦:的までの距離を8m及び10mに分け、矢を5本1ラウンドとし、4ラウンドを行い男女・8m・10mを上位8名まで表彰する。

団体戦:的までの距離8m1チーム5名1人ずつ5本吹き、上位3チームまで表彰する。

収支報告書

収入		支出	
前期繰越金		設備費	221,130
参加費	1,206,000	事務費	50,000
協賛金	30,000	運営費(備品・消耗品)	933,664
協会本部負担	102,394	運営費(表彰関係)	106,948
		その他	26,652
		次期繰越金	0
収入計	1,338,394	支出計	1,338,394

③第16回スポーツ吹矢フェスティバル

無級、級位及び初段取得者を対象に、初心者向けの大会を実施した。

日 時:平成20年10月19日(日)

会 場:東京・BumB 東京スポーツ文化館 メインアリーナ

参加者:322名

競技種目

個人戦:的までの距離を6m及び8mに分け、矢を5本1ラウンドとし、4ラウンドを行い男女・6m・8mを上位8名まで表彰する。

団体戦:的までの距離6m1チーム5名1人ずつ5本吹き、上位3チームまで表彰する。

パーフェクトナイン 的までの距離6mから9枚の板を射抜く競技を行う

スピード競技 的までの距離6mから矢を吹き、初速を記録する。

収支報告書

収入		支出	
前期繰越金	0	設備費	132,720
参加費	966,000	事務費	67,850
ピックアップ会場使用料	11,150	運営費(備品・消耗品)	378,549
協会本部負担	0	運営費(表彰関係)	196,783
		その他	25,000
		次期繰越金	280,518
収入計	1,081,420	支出計	1,081,420

④第9回「新春 吹き初めの会」

年始の稽古初めとして、懇親会を兼ねた会合を実施した。

日 時:平成21年1月5日(月)

会 場:東京・紙パルプ会館 メインホール

参加者:118名

吹き初め

的までの距離6mから、1人3本ずつ吹く。

銀座3丁目教室を開放し、自由な距離で吹く。

収支報告書

収入		支出	
前期繰越金	0	設備費	357,000
参加費	340,500	事務費	2,920
会報名刺広告	130,000	運営費(備品・消耗品)	12,064
物販(吹矢手帳)	6,600	懇親会費用	271,830
協賛金	107,042		
協会本部負担	59,672		
		次期繰越金	0
収入計	643,814	支出計	643,814

3. (上級)公認指導員・審判員の養成及び認定

平成20年度は、スポーツ吹矢の普及・啓発活動を公認指導員の育成として、前期と後期に分け公認指導員の養成講習会及び養成研修会を行い、年間223名を認定した。

また、公認指導員歴3年以上・三段以上の経験豊富な指導員を対象に「上級公認指導員」の育成及び認定を目的とした研修会を実施し、年間79名を認定した。

①公認指導員養成講習会

公認指導員養成・認定を目的とし、1次試験として「公認指導員養成講習会」を実施した。公認指導員資格試験受験を希望する全国の対象者に対応するため、全国4箇所にて全5回の講習会を実施した。

No	開催日時	会場	人数
1	平成20年8月 3日(日)	東京・銀座3丁目教室	48
2	平成20年8月10日(日)	大阪・エルおおさか	11
3	平成20年8月24日(日)	東京・銀座3丁目教室	43
4	平成20年8月24日(日)	福岡・福岡サンパレスホテル	12
5	平成20年8月24日(日)	福島・吾妻会館別館	8
		合計	122

No	開催日時	会場	人数
1	平成21年2月 8日(日)	東京・銀座3丁目教室	41

2	平成21年3月 1日(日)	大阪・エルおおさか	12
3	平成21年3月 1日(日)	東京・銀座3丁目教室	37
4	平成21年3月 1日(日)	福岡・福岡サンパレスホテル	4
5	平成21年3月 1日(日)	福島・吾妻会館別館	8
		合 計	102

		総 計	224
--	--	-----	-----

②公認指導員養成研修会

スポーツ吹矢の普及、啓発活動を目的とした、公認指導員の養成・認定事業として「公認指導員養成研修会」を、当協会公認の研修所(静岡県伊東市)にて実施した。

前期(8回開催)

回数	開催日時	会 場	人 数
1	平成20年 6月20日(金)	研修所ほっと	17
2	平成20年 6月21日(土)	研修所ほっと	15
3	平成20年 6月22日(日)	研修所ほっと	16
4	平成20年 6月28日(土)	研修所ほっと	14
5	平成20年 6月29日(日)	研修所ほっと	13
6	平成20年 7月11日(金)	研修所ほっと	16
7	平成20年 7月12日(土)	研修所ほっと	14
8	平成20年 7月13日(日)	研修所ほっと	13
		合 計	118

後期(7回開催)

回数	開催日時	会 場	人 数
1	平成20年10月24日(金)	研修所ほっと	12
2	平成20年10月25日(土)	研修所ほっと	14
3	平成20年10月26日(日)	研修所ほっと	18
4	平成20年11月15日(土)	研修所ほっと	14
5	平成20年11月16日(日)	研修所ほっと	16
6	平成20年11月21日(金)	研修所ほっと	14
7	平成20年11月30日(日)	研修所ほっと	16
		合 計	104

		総 計	222
--	--	-----	-----

※推薦枠にて認定1名

③上級公認指導員研修会

公認指導員よりも更に経験・段位試験の資格を兼ね備えた上級公認指導員養成・認定を目的とし、「上級公認指導員養成研修会」を、当協会公認の研修所(静岡県伊東市)にて実施した。

回数	開催日時	会場	人数
1	平成20年 7月12日(土)	研修所ほっと	16
2	平成20年 9月13日(土)	研修所ほっと	13
3	平成20年11月21日(土)	研修所ほっと	14
4	平成21年 1月17日(土)	研修所ほっと	11
5	平成21年 2月19日(木)	研修所ほっと	14
6	平成21年 3月14日(土)	研修所ほっと	9
		合計	77

※推薦枠にて認定2名

4. スポーツ吹矢に関する国際交流の実施

- 1) 平成20年度の国際交流の実施事業として、毎年参加していたハワイで開催されるホノルルフェスティバルを今回は見送り、平成21年度事業として、ハワイ総支部設立3周年を記念事業を実施する事とした。実施日程に関しては平成21年度事業計画の通り。
- 2) ハワイ在住のハワイ総支部会員に対し、ハワイ指導員の認定及び段位試験の推進を図り、海外でのスポーツ吹矢の普及・振興を推進した。ハワイ指導員認定者数、級・段位取得者数は下記の通り。

ハワイ指導員認定者数 : 26名
級位取得者数 : 17名
段位取得者数 : 11名

5. スポーツ吹矢に関する腹式呼吸及び健康に関する研究調査

- 1) 平成20年度は、八子芳樹理事、荒井他嘉司顧問による医学の角度からスポーツ吹矢に関する研究調査を実施し、研究結果を会報に掲載した。掲載した項目は以下の通り。

No	掲載号	発表者	掲載内容
1	平成20年 7月15日号	荒井他嘉司顧問	肺年齢を若く保ちましょう
2	平成20年10月15日号	八子芳樹理事	厚生労働省の健康基準
3	平成20年12月15日号	荒井他嘉司顧問	肺の手術とスポーツ吹矢

4	平成21年 1月15日号	荒井他嘉司顧問 八子芳樹理事	新春座談会 「呼吸器を鍛えて諸病予防」
---	--------------	-------------------	------------------------

6. その他目的を達成するために必要な事業

その他、目的を達成するための事業として、より公益性を目的とし、平成20年度に関しては、障がいを持つ会員及びスポーツ吹矢をしたい方々のために、体験会を開催し、障がい者を対象とした競技大会を実施した。

- 1) 各市区町村の社会福祉協議会・生涯学習センター等と連携し、高齢者及び障がい者を対象とした、「スポーツ吹矢教室」を実施した。

No	開催会場	人数
1	福島県立会津養護学校	30名以上
2	埼玉県宮代市社会福祉協議会	30名以上
3	埼玉県田間宮生涯学習センター	30名以上
4	埼玉県障害者交流センター	30名以上
5	茨城県松ヶ丘高齢者福祉センター	30名以上
6	茨城県阿見町生涯学習課	30名以上
7	茨城県土浦市社会福祉協議会	30名以上
8	三重県伊勢市障害者生涯学習課	20名
9	広島県尾道市社会福祉協議会	30名以上
10	東京都多摩市高齢福祉課	30名以上
11	東京都杉並区障害者福祉会館	30名以上
12	埼玉県川越市社会福祉協議会	30名以上
13	東京都板橋区障害者福祉課	30名以上
14	東京都障害者総合福祉センター	30名以上
15	千葉県いきいきプラザ	30名以上
16	神奈川県生涯スポーツ推進センター	30名以上
17	山梨県生涯学習センター	30名以上
18	徳島県徳島市生涯福祉センター	20名

- 2) 障がい者サポート部を中心とし、東京都スポーツ吹矢協会内に障がい者スポーツ吹矢連絡競技会を設置した。

3) 第1回スポーツ吹矢障がい者競技会

障がいを持つ会員を対象に、社会参加、交流を目的とした障がい者のみの大会を実施した。会場には「体験コーナー」を設け、見学者も体験可能とした。

日 時:平成20年9月19日(金)

会 場:東京・港区スポーツセンター メインアリーナ

出場者:46名

収支報告書

収入		支出	
前期繰越金	0	設備費	—
参加費	92,000	事務費	2,5029
協会負担	363,377	運営費(備品・消耗品)	134,433
		運営費(表彰関係)	67,011
		その他	228,904
		次期繰越金	0
収入計	455,377	支出計	455,377

以上